

かどうぜきかいらんばん 可動堰回覧板

平成25年4月1日号 (No93)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

今号は、右岸高水敷造成箇所での護岸工事の状況等についてお知らせします。

堤防を洪水から守る 堤防で護岸工事を実施中

大河津橋上流右岸の工事現場では、現在、堤防に護岸を設置する工事を実施しています。

洪水の時の川の水は、普段では考えつかないほど、ものすごいエネルギーを持っています。その洪水から堤防を守るため、コンクリートブロックを使用した護岸を設置しています。これにより、洪水の勢いで堤防が削られたり、崩されたりするのを防ぎます。



堤防での護岸施工状況



1 m2当たりの重さが350kgのコンクリートブロックを鉄筋でつないで使用しています。



護岸の役割

- 護岸をしていないと
堤防の表面は、洪水の力でどんどん削られます。
- そのままにしておくと
堤防が崩れて、破れてしまうこともあります。
- 護岸をすると
洪水の勢いから堤防をしっかり守ります。

〔イメージ図〕



洪水時の水の勢いは、ものすごく強いんだね。



平成23年7月30日
洪水時の大河津分水

現場担当者からのご挨拶

大河津可動堰改築右岸高水敷造成その4工事

この度、新可動堰の改築工事に伴い、右岸高水敷造成工事を施工させて頂くことになりました株式会社大石組です。越後平野の洪水氾濫防御・水利用に大きな役割を果たす大河津可動堰の改築事業に携わることとなり、名誉と責任の重さを感じています。

平成15年度からの経緯を拝見し、諸先輩方の並々ならぬご努力と地域の皆様との繋がりを大切にしていることが深く感じ取れます。私共もその一環となれるよう鋭意努力いたします。

この工事は、高水敷を造成するための土を渡部橋下流左岸の山を掘り運搬することと高水敷内に仮置きしている土を運搬する作業となります。工事中はダンプトラックの運行が多くなることから、一般の方を最優先とし安全第一で工事を進めてまいります。

周辺地域の皆様方にはご不便をお掛けしますが、工事へのご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。



(株)大石組
現場代理人 田中興次

「大河津分水殉職者慰霊式」を執り行います

慰霊式は、大河津分水工事で殉職された方々の霊を慰めるため、大正12年に夕暮れの岡（旧分水町石港）に慰霊碑を建て、招魂祭を行ったのが始まりです。その後、昭和11年に分水第二公園（現大河津出張所構内）に遷座し、毎年桜の咲く時期に行っています。現在は、大河津分水通水後の補修工事等で殉職された方々も含めて、100名のお名前が石碑に刻まれています。

78回目となる今年は、「分水おいらん道中」と同日に行います。一般の皆さんもご参列いただけますのでぜひお越し下さい。（申し込みは不要です）

- 日時：平成25年4月21日（日）10:30～11:30
- 場所：大河津出張所構内（慰霊碑前）

※大河津出張所周辺には、慰霊碑の他に大河津分水工事に
関する石碑・記念碑がたくさんあります。石碑・記念碑の
由来については、信濃川大河津
防災センター（信濃川大河津資料館）の受付に資料があり
ますので、ご自由にお持ち
下さい。



【右図】石碑・記念碑位置図

- 一. 信濃川治水紀功之碑
- 二. 有泉栄一君碑
- 三. 信濃川補修工事従業員一同碑
- 四. 信濃川補修工事竣工記念碑
- 五. 大河津分水殉職者慰霊之碑
- 六. 洗堰改修記念碑
- 七. 登録有形文化財洗堰碑



昨年 慰霊式の様子

第71回「分水おいらん道中」

～信濃川大河津資料館での協賛行事のご案内～

4月21日（日）に開催される第71回「分水おいらん道中」にあわせて、信濃川大河津資料館にて協賛行事が開催されます。ぜひお越しください。

4/2(火)～5/6(月)

●おいらん道中歴史写真展

「大河津分水路」の歴史と併せて、「分水おいらん道中」70年の歴史をご覧ください。

4/21(日)AM11:00～

●お茶を楽しむ会

4F展望室にて、NPO信濃川大河津資料館友の会による「お茶を楽しむ会」が開催されます。大河津分水の雄大な眺めと無料ふるまいでの抹茶とお菓子が楽しめる会です。なくなり次第、終了となりますので、お早めにご参加ください。

4/21(日)AM11:00～

●気象キャスター講演会

3F会議室にて、気象キャスターによる講演会を開催します。 ※当日は「分水おいらん道中」により混雑が予想されますのでご了承下さい。

[TOPICS]サケの稚魚放流

3月5日（火）、燕市立吉田北小学校4年生の皆さんが大河津分水公園内にある体験水路にてサケの稚魚の放流を行いました。サケの稚魚は学校でふ化させたもので、体験水路に放流された稚魚は、元気に信濃川へと泳いでいきました。

成長したサケが大河津分水にたくさん戻ってくるのが楽しみです。



稚魚放流の様子



サケの稚魚

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧ください。また、バックナンバーも合わせてご覧ください。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。
『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134（平日 AM9:00～PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>